

## 生命の終わりに直面して

先月7日月曜日の早朝、あんなに元気だったキンカチョウの「ちっち」と「いーぐる」が動かなくなっているのを職員が発見しました。

このところ寒い日が続いていましたが、子ども達にその現実を伝えました。動かなくなったキンカチョウを見守りながら「どうして?」という疑問が生まれ、「お腹がすいたんかね?」「寒かったんかね?」年長さん達なりの答えを出そうとする姿も見られました。給食室裏の空き地に墓標作り、お墓として埋めることになりました。墓標の前で手を合わせた年長さんは、どんなことを感じたのでしょうか。

子ども達の中には、今年親族を亡くし涙した子ども達もいました。人間の死は、その死を通して生きていくことの証を子ども達にもしっかり伝える意味があると思います。子ども達は、悲しさや寂しさを表出することで、しっかり立ち直ることのできる強さも持っており、私たち職員はその姿を見守り支援してきました。困難を乗り越える力の源は、ご家族に愛されているという実感だったと思います。

「ちっち」と「いーぐる」の死に直面した子ども達でしたが、生き物の死を通して「生命(いのち)」を大切に」ということを感じ、皆で考える時間となりました。卒園を前に、自分の生命、お友だちの生命、生き物の生命、物の大切にすることなどを改めて保育の中で大切にしていきたいと思いました。 感謝



「お墓を作ったよ。お星さまになってね。」  
と言いながら手を合わせました。



## 令和4年 3月の保育園だより

### 『一年を振り返って』 ～未来を変える小さな一歩～

コロナ禍は、変異株の発症により人間の生活様式を変え、働き方にも大きな変化をもたらせ、子育て中の保護者の皆様の不安もより大きかった一年ではなかったでしょうか。

一月から二月にかけて坂町からの登園自粛要請期間も再々延長となりましたので、子ども達の集団生活の場が奪われてしまったというケースもあり、自粛明けで全員が顔を合わせた時は、お友だちとの繋がりを深めていた時期だけに、どのクラスも喜びに溢れていました。

新型コロナウイルス感染症情報は、毎日ニュースや新聞などで報道され、専門家と言われる方の捉え方や対応の仕方にもいろいろな見解があり、正しいことが何なのか分からなくなり、混乱してしまいそうなのが現実だと思えます。

5歳から11歳までのワクチン接種が始まるという情報もありますが、このことも議論の中で賛否両論があり、保護者の皆様も決断を迫られるという立場になることもあるかもしれません。

また地球温暖化などは、さまざまな予測不能な災害を私たち人間に突き付けている現状があり、ここでも「常識」「当たり前」は通用せず、常に柔軟に物事を考え、判断し実行することの必要性を求められています。

社会の変化とともに、これからの保育や教育を考えていくために、保育園が何を目指し保育を進めていくのか、微妙福祉会の松尾理事長は一貫して、「みみよの保育」とは「あそび」が基本で、その中で非認知能力と言われる、やりたいことを最後までねばり強くやり遂げることで身につく、心情、意欲、態度とも言える、人が社会の中でよりよく生きていくために必要な力の育成の大切さを伝え続けておられます。

私たち職員は、「ひとりをみんなでみんなをみんなで」という意識の中で、「楽しい保育」を目指しながら、子ども達と毎日を通して参りました。

年度末にご協力いただいた保護者アンケートにおいても、95パーセント以上の保護者の皆様から、みみよの保育についてご理解をいただいているように感じましたが、保育者側の改善点も踏まえ、喜んで「保育園に行く!」という子ども達を100パーセント目指すためには、まだまだ保護者の皆様と協力し合うことが重要であると感じています。

就学、進級を前に生活の中でも見直しが必要になってきます。自分のことが自分でできているでしょうか?(つい手を出していることはありませんか。)毎日自ら目覚めていますか?(揺り動かさないと起きられないなどということはないですか。)しっかり朝食を食べていますか?(食べないで保育園に登園することはありませんか。)家族でしっかり対話する時間はありますか?(指示命令ばかりが増えていませんか。)親子のスキンシップや甘えを受け止めていますか?(心の安心基地は大丈夫ですか。)子ども達の個性を大切にしていますか?(誰かと比較してみて、我が子らしさを認めないことはないですか。)子どもの頑張っている姿をほめていますか?(要求ばかりになって、成功体験の場を阻んでいませんか。)気持ちをコントロールしたことを認めていますか?(自律の芽を育てていますか。)

「こんなにたくさんのごこと今さら・・・。」と思ってしまうがちですが、一つだけでも選んで、生活の中での見直しとして、小さな一歩を踏み出してみることも、大切な親の役割であると思われます。

生活様式が変わり、社会が変わってもたくましく生き、新たな創造を楽しみ、人との関わりの中で対立やジレンマを乗り越え、子ども達が社会の中でよりよく生きていくため、そしてよりよい社会を作る一員として、自己をコントロールできる大人になることが求められている中、小さな一歩はとても重要です。

子ども達の心の安定の基地は保護者の皆様であることは間違いありません。働く「やりがい」や「責任」のある仕事と、「家庭」「育児」「介護」「趣味」「地域」などの生活のバランスを取ることが求められている現在(いま)だからこそ、子ども達の未来を変える小さな一歩を踏み出すことが、大人に求められていると思うのです。(園長)



坂みみよ保育園

### 卒園式

3/12(土) 10時～

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止にご協力をいただきながら、今年度の卒園式を年長児とご家族(同居のご家族2名まで)の参加をお願いして開催を致します。ご来賓や他の在園児の参加はありません。なお、在園のきょうだいのおられる場合は、保育をいたしますので担任までお知らせください。

登園時間 午前9時15分～30分まで  
送迎以外の駐車はできません。

開式 午前10時～

式の終了後、クラス子ども達と保護者の皆様とで懇親会を引き続きホール開催。(終了11時45分の予定)

### 園外保育

保護者会・さくらんぼ会の年間計画において、2歳以上のクラスでは園外保育の計画(予算)をしていただいております。レンタカーや微妙福祉会の園バスをお借りして小屋浦みみよ保育園と合同で日程を調整いたしましたので、ご確認ください。当日は愛情弁当のご協力をお願い致します。雨天決行(目的場所の変更はあり)

#### ・2歳児(さくら・もも)

3/2(水) くまの・みらい保育園へ

#### ・年少児(ちゅうりっぷ・れんげ)

3/16(水) トモビオパーク(熊野町)

#### ・年中児(すみれ・ばら)

3/18(金) トモビオパーク(熊野町)

#### ・年長児(ふじ)

3/4(金) 安佐動物公園(広島市)

この日は大型バスで対応します。

※詳しいことは、きっぷノートで年齢別に配信予定